

『一生懸命』幻の新座市議会報告第46弾！



2009年7月30日発行

③ 広報費

新座市議会では議員一人当たり月に2万円の政務調査費が会派に支給されています。(埼玉県議会議員では月に50万円と桁が違います。)この政務調査費で各会派が「視察」に行くことはよく知られています。その為に高価なデジカメを政務調査費で買うことも知られています。しかし「視察内容」を市民に報告することに、この政務調査費が使われることはありません。市民のお金で視察したら、市民に報告する。この当たり前のことをしていないのが、今の新座市議会です。語る会の視察は3年間で二度。一度目は北海道恵庭市に行きました。この時は自分の家族の北海道旅行を兼ねて行きましたから、全て自費でした。勿論、それでも視察報告は出しました。議会でも勉強してきたことを生かし質問・提案しました。二度目は愛知県犬山市に行きました。この時は政務調査費を使わせて頂きました。朝、新幹線に乗り、午後一番で犬山市教委の指導課長と懇談し、授業を見させてもらって、また懇談。余りの充実感に時間があっという間に過ぎていきました。犬山市教育委員会には本当に多くのことを学ばせてもらいました。そして、その夜の内に帰宅。昼ごはん代も夕飯代も自費。使った政務調査費は運賃だけでした。もちろん、その時の内容は、この『一生懸命』に詳しく報告させて頂きました。僕のデジカメは自費で購入したのですが、市民に報告する為には確かに必要なものの一つです。そのデジカメの購入は認めるが、市民へ報告する為の「広報費」は認めないと議会運営委員会で唯一反対しているのが市長与党最大会派政和会(自民)です。「市民のお金(税金)で買ったデジカメを持って遠くまで泊まりがけで視察に行くのだから、その内容まで責任もって市民に報告すべきだ。」語る会は議会運営委員会の中でそう言い続けています。市民のみなさんはどう思いますか。

③ 日本にあった政治

今の日本、政権が交代することは確かにいいことでしょう。民主党に政権を取らせてみたい気もします。だけど、自民大勝後の「郵政民営化」が大失敗だったように、民主党も大失敗するかも知れない。それが小選挙区制 = 二大政党の怖さです。日本はアメリカ型二大政党ではなく、ヨーロッパ型の連立を目指した方がいいと僕は思っています。薩摩と長州だけの政治ではなく、土佐も会津も越後もいた方がいいということです。今の新座市議会は自民・公明の最大会派に加え、民主系「刷新の会」も市長与党に徹している為、どうにも転ばない仕組みになっています。政治が硬直しているのです。政治の目的は市民の福祉・向上につきます。選挙に勝つことが目的になっている政治は見苦しい。選挙で何を言ったかではなく、当選後何をしてきたのかを、じっくりと見なければなりません。「民の生活を少しでもよくしていきたい」とそういう目線と精神をもった人を国政でも選んでいきたいものです。僕は小選挙区では政党ではなく人で選び、比例代表区では政権与党のブレーキとなる政党を選ぼうと思っています。



写真は黒目川に生息するオオタカ。これから少しずつ黒目川の動植物を紹介していきます。